

| H304 | | 近代法思想の展開 | |
|-----------|---|----------|---------|
| 英名科目名 | Development of Modern Legal Thought | | |
| 大学名 | 同志社大学 | | |
| 連絡先 | 今出川キャンパス教務センター（法学部） TEL：075-251-3511 FAX：075-251-3064 | | |
| 担当教員 | 戒能 通弘（法学部教授） | | |
| 開講期間 | 2021年04月07日(水)～2021年07月27日(火) 6講時 18時25分～19時55分(毎週月曜日) 休講2021年5月3日（月・祝） | | |
| 開講形態 | 前期・春学期 | 開講曜日・講時 | 月曜日 6講時 |
| 単位数 | 2 | 履修年次 | 3年次以上 |
| 会場 | 今出川校地 | | |
| 授業定員 | | | |
| 単位互換生定員 | | 京カレッジ生定員 | |
| 試験・評価方法 | <p><成績評価基準> 平常点（出席）10% Formsによる出席確認。授業内容が理解できているか、クイズ形式で問います。 期末筆記試験 90% 授業のポイントを理解しているレポートを評価します。</p> <p>期末レポートでは、オンライン講義で扱った法思想やそれぞれの関係が的確に理解できているかについて問う予定です。</p> | | |
| 超過時の選考方法 | | | |
| 受講料 | | | |
| 別途負担費用 | | | |
| その他特記事項 | この講義は、オンデマンドでの配信形式です。講義に関する連絡については、Duetとe-classを確認するようにして下さい。質問は、e-classで受け付けます。 | | |
| パッケージ科目 | | | |
| 低回生受講推奨科目 | | | |
| 講義概要・到達目標 | <p>この講義は、オンデマンドでの配信形式です。講義に関する連絡については、Duetとe-classを確認するようにして下さい。質問は、e-classで受け付けます。</p> <p><概要> 現代の日本の法、法システムを理解する上でも、西洋の法、法システムについての関心は必要不可欠です。そして、その西洋の法、法システムを支える法理論・法思想は、現代にいたるまでの数多くの法律家の法思想が結晶したものだと考えることもできます。本講義は、法思想史を学ぶことで、現代の日本の法、法システムについて、より理解を深めることを目標としています。</p> <p>具体的には、十七世紀ヨーロッパの近代自然法論から二十世紀初頭のアメリカ法思想までの大まかな流れを把握すると同時に、とくに重要だと思われる何人かの法律家の法思想について、詳細な検討を試みます。さらに、近代法思想が現代日本法に与えた影響についても講義します。</p> <p>なお、講義のある毎週月曜日に、パワーポイントを用いた授業をzoomで録画して、Duetとe-classで、URLとパスワードをお伝え致します。各授業で用いるパワーポイントのファイルの1ページ目にURLとパスワードを記載しますので、録画にはそちらからアクセスして下さい。</p> <p><到達目標> 現代の法制度がどのように形作られてきたか、その際、法思想がどのような役割を果たしてきたか理解できるようにするとともに、法思想史の観点から現代の日本法のあり方について多角的な理解ができるようにする。</p> | | |
| 講義スケジュール | <p>第1回 オリエンテーション、法思想史とは何か</p> <p>[第一部 近代自然法思想の形成]</p> | | |

第2回 イギリス市民革命期の自然法(1) ホブズ
テキストの当該箇所を事前に読んでくること。
第3回 イギリス市民革命期の自然法(2) ロック
第4回 フランス啓蒙期の法思想 ルソー

[第二部 近代法思想の展開]

第5回 功利主義 ベンサム
第6回 ドイツ観念論の法思想 カント、ヘーゲル
第7回 法実証主義の成立と分析法学 オースティン
第8回 歴史法学の展開 メイン
第9回 ドイツ近代法律学の展開 サヴィニー

[第三部 近代から現代へ]

第10回 社会主義の法思想 マルクス
第11回 大陸の法学革新運動 エールリッヒ
第12回 アメリカ法思想とプラグマティズム ホームズ
第13回 現代日本法と近代法思想
第14回 現代日本法と近代法思想
第15回 まとめ

| | |
|-----|---|
| 教科書 | 戒能通弘・神原和宏・鈴木康文 『法思想史を読み解く』（法律文化社、2020）、I S B N : 978-4-589041029, このテキストに沿って講義を進めます。 |
| 参考書 | |